

(平成26年8月19日)

## 第7回 赤松小三郎研究会のご報告

日時 : H26. 8. 19 (火) 18:30~20:45  
場所 : 東京・文京シビックセンター 4F 会議室B  
出席者 : 18名

### < 内容 >

#### 1. 配布資料

- (資料1) 6/17説明事項において丸山会長からの質問に対する回答～生糸の輸送ルートについて <沓掛忠さん(61期)作成>
- (資料2) 信州と世界をむすぶ物語(信毎のコラムより・松本健一氏) ①江戸後期に信州の蚕種が日本一の品種だった、②佐久間象山の思想的先見性について <宮坂幸雄さん(57期)より>
- (資料3) 江戸の上田藩屋敷についての紹介(台東区・文化観光課文化財係「下町文化」253号より)と深川・木場界隈の江戸古地図 <宮原安春さん(58期)より>
- (資料4) 赤松小三郎研究会講演会のお知らせ(H26. 10. 21) <事務局より>

#### 2. 赤松小三郎を取り巻く人間関係 薩摩藩と上田藩を中心に

～調査すべき課題といくつかの仮説の提示～ 報告者: 関良基さん(86期)

◎以下、当日のレジメより11の「調査すべき課題」全てを一部要約して紹介します。

##### < I 薩摩藩関係 >

1. 小三郎が、薩摩の歩兵・砲兵約800名に授業を始めたのは慶応3年4月12日以降で間違いないだろう。しかし、藩邸にはそれ以前から藩士がいたのであるから、それ以前に授業を始めていた? (鳥取藩の記録には慶応2年秋とあり)
2. 平本良蔵(下曾根塾の旧塾頭)とはどのような人物だったのか? 平本はなぜ中曾根と不和になったのか? 小三郎と平本の関係は?
3. 野津七次(後の元帥・道貫、小三郎の一番弟子的存在)が横浜で師事しようとしていた「英国騎兵」とはアプリンのことか? 江戸にいる間から小三郎を通じてアプリンのことを聞き、野津もアプリンから教わりたいと願っていたのか?
4. 千野紫々男・「伝記」1935年6月号「幕末の先覚者 赤松小三郎」(56-57頁)によれば、松尾茂(上田出身・文部省維新史料編纂課)が大正14年に臨終前の有馬藤太(薩摩藩士)にインタビューをしているが、その記録が見つからない。有馬は臨終前に初めて小三郎暗殺の真相を語ったと思われるが、千野氏はどのようにこの事実を収集したのか?
5. 千野氏・上記「伝記」5月号(65頁)にある、日露戦争後に野津、東郷、川村、黒木、井上、伊東、伊集院、等が故郷鹿児島で一堂に会した時の『赤松先生暗殺の当時は、篠原

国幹の箝口令に遭ったが、今の世となつては何の憚る所もない。幕末明治にかけて……、又今日我々が露国を撃攘して、故山に錦繡を飾り得たのも、思へば赤松先生の薫陶の賜物とも言ふべきである。』の会話情報の出所が不明。

6. 千野氏がどのような人物なのか詳細が不明。

7. 川村景明（鴨緑江軍司令官）、黒木為楨（第1軍司令官）、伊東祐亨、伊集院五郎は通常は小三郎の門弟として名前があがってこない人々だが彼らも小三郎に教わっていたのか？

### <Ⅲ 上田藩で要調査の人物たち>

8. 上田藩には全く無名だが、きわめて先見的な卓見を述べていた人物が多数おり、手分けして調査する必要がある。例：櫻井純蔵、恒川才八郎、八木剛助、松田玄仲（中居屋重右衛門

9. 櫻井純蔵の薩摩留学の謎。薩摩は他国人を容易に入国させない閉鎖的な土地柄だったのになぜ上田藩の櫻井が薩摩に入国し、同地で学べたのか？上田藩主・松平忠優（後の忠固）が老中だったため特別に薩摩入りを許されたのか？等は上田藩の『日乗』（ニチジョウ）を調べる必要あり。

10. 八木剛助（小三郎より30歳年長、上田藩の兵制の洋式化を進め、藩主・松平忠優を支えた第一の功臣と思われる）の論（学校教育や民兵制度の提唱、積極交易論、等）と小三郎の論の連続性を調査する必要あり。小三郎の論（「建白七策」に代表される）は、上田で突然に出てきたわけではなく、先駆者として八木などの存在があった。

11. 中居屋重兵衛の死後、松田玄仲（中居屋重右衛門・元は丸子の医者で中居屋重兵衛とともに横港開港と同時に中居屋を開店し生糸輸出を試みた中居屋の大番頭）はどうしていたのか？横浜で生糸商を続けていたのか？松田玄仲と小三郎は面識があったか？

・上記11の「課題」と併せて関さんからは7つの「仮説」（ここでは割愛させていただきます）の発表がありました。今後、機会をみて同研究会で少しずつ解明していこうと思います。

### <レジメの添付資料>

○国立国会図書館・憲政資料室 野津道貫関係文書『道貫公事績（手書き原稿・未出版）』昭和6年執筆 No.84（84頁）

○『大久保利通関係文書5』立教大学日本史研究会編、吉川弘文館、1971年131頁および306頁

○東京大学史料編纂所 維新史料綱要データベース 慶応3年9月3日赤松小三郎暗殺関連記事より～鳥取藩による小三郎暗殺事件報告

以上

赤松小三郎研究会 事務局長 小山平六（62期）

事務局 荻原 貴（79期）